

NAKHON PHANOM

ナコーンパノム



3 วัน 2 คืน
เริ่มต้น 3,999 บาท/คน


3日2泊

3999 パーツ/人から



CONTACT US

 : natnara.nat

 : 062-8595241

1日目：バンコクからの旅行 - ナコンパノム県 - パヤーシーサッタナカラットコートヤード - ナコンパノムウォーキングストリート

(-/-)

05.30 時 : バンコクからナコンパノム県に向けて出発 で時間は約 10 時間です。

昼 : レストランで食事を食べます。

夕方 : **ナコンパノム県**に到着。チェックインに旅行、リバーホテルに投宿します。荷物をまとめて部屋に入って、自由行動リラックスする。

15.00 時 : **パヤーシーサッタナカラットコートヤード**に到着旅行する。ナコンパノム県の新しいランドマークです。ナコンパノム市のスントンウィチットロードにある森林局の前にあるシーサッタナカラットコートヤードのメコン川のほとりに祀られています。北東部最大の真鍮のナーガで、美しく見事です。プラヤーシーラタカラット 真ちゅう製、総重量 9,000 kg、八角形の土台に祀られ、幅 6 メートル、高さ 15 メートル、水を噴霧できる 7 頭のナーガの形をしています。ご存知のように、タイ・ラオスの兄弟姉妹はナーガとつながりや信念があります。メコン川の繋がりと同様です。祖父母の世代はすべてナーガの神聖さを信じていたので、メコン川流域の管理人として、この建設の目的は、文化と伝統を保存することです。そしてメコン川のほとりに住むナーグについてタイ人とラオス人の信念。



また、ナコンパノム県の観光名所をメコン圏の観光ハブとしてアップグレードしたいと考えています。この地域のもう 1 つの新しいランドマークになります。パヤーシーサッタナカラットコートヤードは、単一のボディ、7 つのヘッドで輝かしいです。仏陀の時代から子孫であるナーガ家とされており、仏陀や仏教に非常に近く、すべてのナーガの祖先とされています。誰かが願い事をするよ



うになれば、それは神聖であると信じられているので成功するかもしれません。このエリアの雰囲気は、世界中の人々で毎日賑わっています。特に土曜日と日曜日。ナコンパノムに来る人は、幸運のためにパヤーシーサッタナカラットコに敬意を表するために訪問をお見逃しなく。

夕方 : レストランで夕食を食べます。

18.00 時 : 次に、**ナコンパノムウォーキングストリート**を散歩します。ナコンパノム県ムアン県メコン川沿いの道路沿いにあり、パヤーシーサッタナカラットコートヤードから歴史的な時計塔まで続いています。長距離ではありません。毎週金曜日、土曜日、日曜日の 16 時から 22 時頃まで営業しています。近距離です。道路の両側には、地元の食べ物を含む商品を販売する地元の人々であるベンダーが並ぶ店が並んでいます。様々なアイテム、衣類、道具。メコン沿いの古い家の美しさを味わうために、ここを散歩します。メコンの夕景 お土産を買い、美味しいものを楽しみます。



19.00 時 : ホテルに戻り、自由行動リラックスする。

2日目 : プラタートファノムウォラマハウィハン寺院 - プラタートレーヌ寺院 - ホーチミン大統領記念館 - ナックブンアンナー寺院 - 知事のミュージアム(古い建物) (-/-)

朝 : ホテルのレストランで朝食を食べる。

朝食後、[プラタートファノムウォラマハウィハン寺院](#)に連れて行って。それは、ナコンパノム県、そのファノム地区、そのファノム区のチャヤクンロードにあります。プラタートファノムは、申年に生まれた人々の誕生年定期的寺院のとな見なされ、日曜日に生まれた人々の誕生の定期的寺院です。伝説によると、作成者はプラマハーカサパでした。考古学的発掘調査から、プラタートファノムは西暦 1200 年から 1400 年の間に建てられました。中には仏陀のオランカの遺物と多くの貴重な品物が含まれています。その後、1942 年に、ウォラマハーウィハン型の一流の王立修道院にアップグレードされました。「[プラタートファノムウォラマハーウィハン寺院](#)」に名前をに変更します。

1975 年 8 月 11 日午後 7 時 38 分、プラタートの古さと数日間の大雨のためにプラタートファノムが倒れました。全国の人々が集まって資金を寄付し、政府は 1979 年 3 月 23 日に完成するまで同じ方法で新しい仏の遺物を建てました。現在、プラ



タートファノムはレンガで作られた正方形のパゴダです。美しい模様が刻まれたレンガのパネルがあります。土台は幅 12.33 メートル、高さ 53.60 メートルです。遺物の上部は 110 キログラムの金できています。礼拝に行く人は、功德を得ると人々が尊敬すると信じられています。その後、[プラタートレーヌ寺院](#)に旅行する。ナコーンパノム県レヌナコーン地区のレヌ区にあります。もともとは、プータイの人々の住人であるレヌナコンでしたが、今でも手入れ届いて地元の伝統を守っています。プラタートレーヌは 1918 年に建てた。プラタートファノムから 形状標本

化、高さ 35 メートル、幅 8.37 メートル、4 つの側面にアーチがあります。中にはトリピタカ、黄金の仏像、銀の仏像、貴重品がほみがあります。月曜日に生まれた人々の誕生な寺院です。礼拝に来る人は月明かりのように明るい美しい体を持っていることを祝福されると信じています。



昼 : レストランでお食事する。

午後 : ナコンパノム県ムアン地区ノンチョグ区バンナチョクにある [ホーチミン大統領記念館](#) に到着。インドシナ戦争中、ホーチミン大統領と彼のイデオロギーグループ。1923 年から 1931 年の間にナコンパノム県の地域で独立を回復する方法を見つけるために旅行しました。バンナチョグに住むことで、彼は家と器具を建てました。家の正面にココナツの木が生い茂る平屋建てで、周辺にはビンロウの実と



竹が植えられています。現在、この地域は元の状態を維持していますが、家屋は劣化し、取り壊されています。ティエオ・グエンの家 48 バンナチョクビレッジ 5 町目エリアにあります。バンナチョグに 7 年間住むようになりました。国家復興の成功の結果の一部として非常に重要な場所と見なされている国家解放闘争の調整、計画および運動のための連絡の場となること。中には美術館の建物があります。ホーチミンの古い家の

レプリカがあります。ベトナム戦争中にホーチミン大統領がここに住むようになったときと同じ家電製品を展示しています。地元の商品、OTOP 商品、お土産を売る



ビルがあります。次に、[ナックブンアンナー寺院](#) に連れて行って。このキリスト教の教会は 1926 年以来建てられました。そしてそれはタイで最も美しくそして古代のキリスト教の教会の 1 つと考えられています。遠くから見て捕まえることができる顕著なポイントは、必然的に、正の教会自体の上にある高くそびえ立つツインタワーです。この教会は、インドシナ戦争中に元の教会が爆弾で被害を受けた後、再建された建物

です。したがって、この新しい教会は、1881年にタイ、ベトナム、ラオス、中国を問わず、多くの国籍の人々の心拠所の象徴となるように一緒に建てられました。ヨートバップティスプロドーム神父とザビエル・ゲコ神父パリの外国人宣教師であるケコはウボンラチャタニに到着し、ブンカテルに定住しました。その後、東北部の北方からの人が父をノンカイに行くように誘った。多くの人々が宗教に入っていること主張して、アルフレッド神父はメアリーテオフィルロンデル神父と彼の教師であるトーン先生と一緒に行くことに決めました。1883年4月26日（西暦1884年）にウボンラチャタニを出発し、1883年6月（西暦1884年）に初めてナコンパノムに到着しました。目的はルートを探索することです。次の機会に宣教師プロジェクトを立ち上げるための村人の状況とライフスタイルノンカイとビエンチャンを探索した後、両方の父親はウボンラチャタニに戻りました。



夕方 : ナイムアン地区ストーンウィチットロードにある知事の**ミュージアム(古い建物)**に到着します。もともとは、1912年から1914年にベトナムの職人によって建てられた、ナコンパノム県の初代知事であるプラヤファノムカラーヌラック（ウイ-ナコーンタップ）の私有財産でした。2階建ての洋風れんが造りの建物で、インドシナ戦争中のフランスの建築様式に影響を受けた。タイ瓦屋根は、1階にセメントタイル、2階に木の板を敷き詰めています。上層階と下層階の両方に柱



がない。その後、この建物はナコンパノム県の次期知事の住居として使用されました。そして1955年11月12～13日は北東部の人々への王室訪問でこの建物をプミポン国王陛下とシリキット女王陛下の住居として組織しました。現在、美術部はこの建物を古代の記念碑として登録しています。ナコンパノムの人々の重要な歴史的物語を学ぶために博物館に改装されました。展示会を持っていますナコンパノムの過去の「物語の絵」、多くの有名な写真があ

ります。さらに、知事の住居の後ろに2つの建物があります。火船の流れについてのストーリーを展示します。過去の地元の村人の料理する。



18.00 時 : レストランで食べます。夕食後、リバーホテルでリラックスして戻ります。

3日目 : タイ-ラオス友好橋-バンコク

昼 : ホテルのレストランで朝食を食べます。食事が終わったら、荷物をまとめてホテルからチェックアウトし、タイ-ラオス友好橋に向かいます。タイ（ナコンパノム）とラオス（カムアン）を結ぶ橋です。タイ側のエリアは、ムアンナコーンパノム地区のアットサマート区のバンホームにあります。ラオス側はカムアン地区ターケクのバンウエンタイにあります。タイで最も美しい橋のひとつです。タイの石灰岩の山々の背後にある景色があります-ラオス、並んでいる大きな複合体。橋の下部には、橋を下から見ることができる展望台があります。メコンのほとりに位置

し、散歩をしてリラックスし、ラオス側から吹く涼しいそよ風を楽しむことができます。ラオス側に渡らずに橋の上で美しさを見て写真を撮りたい観光客向け。スタッフに許可を求めて写真を撮りたいと申し込むことができます。入場は可能ですが、タイ側の橋の始点でしか立って写真を撮ることはできません。ター



ケク、カムアン地区、ラオスの観光名所としては、ラオス人の生き方への遠足、観光、史跡、古代寺院、そして多くのフランスの建築物のツアーになります。重要なのは、シーコッタブン寺院という名前の神聖な寺院で敬意を払って功德を上げることもできるということです。ターケク町の外には、入って船が必要なプラ洞穴、燕洞窟、を見るためのネイチャー旅行があります。ラックソンマーケットで製品を訪問して購入することを込みます。タイラオス友好橋は、ナコンパノム県のもう1つの興味深い観光地です。北東部の最も重要な橋の1つと見なされているため、観光客は一度頻繁に訪れる必要があります。

11.30 時 : **レストランでお食事する。** 次に、ナコンパノム県を出てバンコクに戻って時間は約 10 時間です。

21.00 時 : 安全にバンコクに到着。

【サービス率】

一人様あたりの開始価格	3999 バーツ

【このサービス料金にはこ以下が含まれます。】

- 【ルームサービス料】
- 【VIP バン】 【プログラムに従って旅行】
- 【飲料水 1 本/日】
- 【旅程で指定されたアトラクションへの入場料】
- 【旅行中のツアーガイド】
- 【ポリシーに従った旅行傷害保険費用 1 人あたり 50 万バーツの医療費、または死亡した場合、保険会社の条件により、1 人あたり 1,000,000 バーツが上限です。健康保険は含まれていません。】

- 【食費、旅程で指定された項目に従って。】
- 【リストに指定されている標準的なホテル料金（1部屋あたり2～3人）】

【このサービス料金含まれていません。】

- 【客室内のミニバー（該当する場合）と個人的な費用 リストに指定されているもの以外。】
- 【菜食主義者のための食費、イスラム教徒のための食べ物料金】
- 【実際の支払いに基づく外国人の追加入場料。】
- 【手荷物が航空会社の指定重量を超えた場合、または手荷物が標準サイズを超えた場合の料金。】
- 【バン予約の装填料】
- 【燃料税料金 航空会社がより多く請求すること 会社がすでに航空券を発行した後。】
- 【VAT 7%、源泉徴収税 3%】
- 【ドライバーとガイドのためのヒントは一人あたり 300 バーツで す。】